

保育指導案

- 1 日 時 平成28年10月26日(水) 8:15~10:30
- 2 組 名 あか1組(4歳児) 男児12名 女児14名 計26名
あか2組(4歳児) 男児12名 女児16名 計28名
- 3 場 所 園庭・保育室
- 4 保育内容 遊ぼう!!自然と友達と
- 5 子供の姿・環境と教師の援助

○ 子供の姿

進級当初は、自分のやりたい遊びを見付け、泥んこ遊びや色水遊び、虫探しなど様々な遊びに興味をもって遊ぶ姿が見られていた。友達と一緒に遊ぶことを楽しむ子供もいたが、一人で好きな遊びに没頭し、友達とかかわって遊ぶことが少ない子供もいた。また、自分の思いは主張するが、友達の思いを受け入れることが難しく、遊びの中で友達と自分の思いや考えがぶつかりいざこざが起こることもあった。経験を共にすることで、徐々に友達に自分の思いや考えを伝えたり聞いたりしてかかわり、友達の思いを受け入れながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができるようになってきている。

ごっこ遊びが好きな子供が多く、園庭では砂や泥、季節の花などを使ってケーキやごちそうを作ったり、作ったものを使って友達とお家ごっこやお店ごっこを楽しんだりしている。また、「おひさまバルコニー」では、気の合う友達と誘い合い、お父さんやお母さんなどの役になりきり、言葉を交わしながら、お家ごっこをして遊んでいる。

園外保育で橘神社に行き、ドングリや栗、小枝などを見付けて拾ったり、園内でジュズダマやオシロイバナ、フウセンカズラの種拾いをしたりするなど、秋の自然物に触れてきた。拾った自然物は、お店屋さんで売ったり遊びに必要なものを買ったりして、友達とやりとりすることを楽しんでいる。買った自然物は、ごっこ遊びのごちそう作りや色水遊び、製作遊びに使い、自分のしている遊びだけではなく、友達のしている遊びにもかかわって遊びを広げてきている。また、ドングリごま遊びでは、机から落ちないようにするにはどうしたらよいかを考え、こまを回す台に枠を付けるなどの工夫をしようとする姿が見られた。枠が倒れないようにするにはどうしたらよいか考えたことを伝えたり、友達の思いを受け入れたりして、一緒に作る楽しさを味わっていた。他の遊びでも自分の考えたことを友達に伝え一緒にやってみたり、諦めずに繰り返し挑戦したり、自分なりに工夫したりしている。

異年齢交流に関しては、年少児のしているバスごっこに興味をもち、信号機やバス停などを作ってあげたり、ジュズダマ通しやドングリごま作りで困っている様子に気づき、一緒に作ったりして優しくかわる姿が見られる。

○ 環境と教師の援助

これまで、学級で触れ合い遊びや簡単なルールのある遊びをしたり、教師が様々な遊びに誘い一緒に遊んだりすることで、学級のいろいろな友達と遊ぶ楽しさを味わい、友達とのかかわりが広がるようにしてきた。また、友達とかかわって遊びたいという気持ちを大切に、同じ場で遊ぶことができる環境を整えたり、友達のしている遊びに興味をもてるように、振り返りの場を設けたりしてきた。また、子供の思いを表現しようとしている姿を認め、さらに友達同士がつながることができるような言葉がけを心掛けている。いざこざが起きた時には仲介役となり、互いの思いを受け止めたり汲み取ったりしながら

ら、どうしたらよいか一緒に考えている。これらのことを通して、友達に自分の思いやイメージを表現しようとする姿が見られるようになってきた。

ごっこ遊びでは、サッカーゴールにシートを巻いて「お家」として使うことができるように配置したり、自然物や家庭で使っているような調理器具を用意したりすることで、イメージが広がり、より遊びに没頭することができるようにしている。また、必要に応じて教師が互いの思いを聞いたり、自分の思いを言う姿を認めたりしながら、それぞれのイメージをつなげていくことができるようにかかわっている。遊びの中で自分の思いや考えを友達に伝え、イメージを共有しながら遊ぶ楽しさを味わってほしい。

また、子供たちは園外に自然物を拾いに行ったり、園庭で種拾いをしたりして秋の自然物に親しんでいるが、拾った自然物を生かした遊びにつながるように、様々な遊びに使えることを知らせたり、一緒に遊びながら自然物の遊び方を考えたりしている。自分なりに考えたことや友達から刺激を受けたことに、諦めずに挑戦している姿を認め、満足感が味わえるような言葉がけをしていきたい。

異年齢交流に関しては、年少児に優しくかかわっている姿を認め、自信につながるような言葉がけをしていきたい。

6 ねらいと内容

- 秋の自然に興味をもちながら、気の合った友達と一緒にイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わう。
- 自分の思いや考えを友達に伝えながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・身近な秋の自然物を取り入れて、友達と一緒に遊ぶ。
 - ・友達と誘い合って、ごっこ遊びや製作遊びなどをする。
 - ・遊びの中で自分の思いや考えを友達に伝える。
 - ・異年齢の友達と一緒に走ったり、踊ったりして遊ぶ。

7 本時までの遊びの流れ

行事やクラスでのまとまった活動

- ・鬼ごっこ 5月～
- ・リズム遊び（運動会） ～9/24
- ・バス遠足（福山市立動物園） 9/30
- ・秋の自然物拾い（橘神社） 10/3
- ・園庭の種拾い 10/7
（ジュズダマ・オシロイバナ・オナモミ）
- ・ジュズダマ通し 10/11
- ・秋の自然物を使った製作遊び 10/17
- ・ドングリごま遊び 10/18

自ら選んだ遊び

- ・ままごと
- ・色水遊び
- ・砂場遊び
- ・お店屋さんごっこ
- ・コンサートごっこ
- ・鬼ごっこ、かくれんぼ、ジャンプ遊び
- ・オナモミ遊び
- ・ジュズダマ通し
- ・ドングリごま遊び
- ・製作遊び

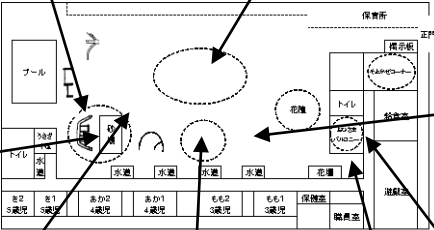
8 評価の観点

<子供>

- 気の合った友達とイメージを共有しながら遊ぶことを楽しんでいたか。
- 自分の思いや考えを友達に伝えながら遊ぶことを楽しんでいたか。

<教師>

- 自分の思いやイメージを表現しながら、友達とかかわって遊ぶことが楽しめるように環境の工夫や援助ができていたか。
- 自分の思いや考えを伝える姿を受け止めたり、友達に伝わるようにかかわったりしていたか。

| 時間 | 保育の展開 | ●予想される子供の姿 ◎環境構成 ※教師の援助 |
|-------|---|---|
| 8:15 | <ul style="list-style-type: none"> ○登園する。 ○自ら選んだ遊びをする。 | <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈ジュズダマ通し〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テグスにジュズダマを通して、プレスレットやネックレスを作る。 ●異年齢の友達に教えたり、難しい所は手伝ったりする。 ◎落ち着いて作ることができるようにブランコスペースに机と椅子を置く。 ※困っている友達に気付き、優しく教えることができるように声をかける。 ※異年齢の友達に優しく教える姿を認め、自信をもってかかわることができるようにする。 </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈鬼ごっこ・かくれんぼ・ジャンプ遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分たちなりのルールを決め、友達と一緒に発砲スチロールの台から台へ飛んだり、台に向かって走ったりする。 ◎子供の実態に応じて発砲スチロールの台と台の距離を調整して配置する。 ※子供の遊びの状況に応じて、台を子供と共に動かし、台と台の距離を再構成する。 ※友達と体を動かして遊ぶ楽しさが味わえるように教師も一緒に参加し、ルールを考えたり、知らせたりする。 </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈オナモミ遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秋の自然物に興味をもち、オナモミを使って、的に向かって投げて遊ぶ。 ◎オナモミを生かした遊びに興味をもてるように、的を用意する。 ※的に投げたりくっついたりする面白さを言葉で表現する姿を見守り、教師も一緒に参加して楽しさに共感する。 </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈砂場遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と一緒に、山やトンネルづくりをする。 ◎遊びに使ったり、用具を洗ったりできるようにタライに水を張っておく。 ◎友達と一緒に砂場遊びができるようにスコップやといなどの用具を用意する。 ※友達とイメージを共有しながら遊ぶ姿を見守り、必要に応じて教師も参加しながら、できた喜びや満足感が味わえるようにかかわる。 ※いざこざが起きた時には、教師が仲介役となり互いの思いを受け止めたり、どうしたらよいか一緒に考えたりする。 </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈色水遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キバナコスモスやサルビア、オシロイバナなどの花を使って、自分なりに花の色や種類などを考えながら色水を作る。 ●お店屋さんで使いたい花を買って色水遊びをする。 ●困っている友達や年少児にやり方を教える。 ◎プランターで囲いをし、友達と一緒に落ち着いて遊べる空間をつくる。 ◎色水を作る楽しさが味わえるようにジョウゴや茶漉しなどの用具を用意する。 ※自分なりに工夫している姿を認めたり、周りの友達に知らせたりして、友達とのやりとりをしながら作ることができるようにする。 </div> <div style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈ままごと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と遊ぶ場を整えたり言葉を交わしたりしながらごっこ遊びをする。 ◎分類して片付けができるように、表示をしておく。 ◎友達と一緒にイメージを共有して遊ぶことができるようにままごと道具を用意する。 ※自分のイメージを友達に伝える姿を見守ったり、落ち着いて遊ぶことができるように場を一緒に整えたりする。 </div> </div>  |
| 9:45 | <ul style="list-style-type: none"> ○片付けをする。 ・手洗い、うがいを ○帰りの支度をする。 | <p>〈ままごと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と一緒に砂や泥、水、花びら、ドングリ、小枝などを使って、ケーキやごちそうを作る。 ●自分なりのイメージをもちながら、友達とやりとりをして遊ぶ。 ◎イメージが広がるように、家庭で使っているような調理器具、長椅子、水の入ったタライ、切り株、自然物などを用意する。 ◎より遊びに没頭することができるようにシートを巻いたサッカーゴールを配置する。 ※友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを感じられるように必要に応じて教師が思いを聞き友達とのイメージをつなげる。 |
| 10:30 | <ul style="list-style-type: none"> ○降園する。 | <p>〈お店屋さん〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お金に見立てた葉っぱを持って、お店に行く。 ●遊びに必要なキバナコスモスやサルビア、オシロイバナ、ケイトウなどの花や、ドングリ、オナモミ、ジュズダマなどを、言葉のやりとりをしながら売り買いする。 ◎子供と共に自然物を分かりやすいように分類して並べる。 ※「いらっしゃいませ」など、必要な言葉を使って友達とやりとりすることができるように言葉がけをする。 ※遊びの状況に応じて、お店に必要な草花や木の実を用意する。 |

| 時間 | 保育の展開 | ●予想される子供の姿 ◎環境構成 ※教師の援助 |
|-------|---|--|
| 8:15 | <p>○登園する。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈ドングリごま遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分が作ったこまを友達と回す。 ●回った時の色の変化や美しさを友達や教師に言葉で伝える。 ◎友達とこまを回す楽しさが味わえるように子供が作った囲い付きの机をテラスに用意する。 ◎自分の作ったこまに愛着をもって、繰り返し使うことができるようにこまを置く場を用意する。 ※色の変化や美しさに気付き、言葉で伝える姿を受け止めたり共感したりする。 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈製作遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな素材や自然物を使って、自分のイメージするものを作る。 ●友達の作るものに興味をもち、真似て作ったり作ったもので一緒に遊んだりする。 ◎衣装やごっこ遊びに必要なものを作ることができるように、タフロープや花紙、画用紙、ビニール袋など様々な材料やドングリ、種などの自然物を用意する。 ◎遊びが深まるように子供と一緒に場を整える。 ※自分なりに工夫して作っている姿を認め、できた喜びや満足感が味わえるようにする。 ※作りたいものを作ることが難しく困っている子供には、友達に聞くことができるように言葉をかけ、友達同士でつながって遊べるようにする。 </div> </div> <div style="margin: 10px 0;"> <p>〈絵本コーナー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興味のある絵本を手に取り、落ち着いて見る。 ●友達と一緒に絵本を見る。 ◎子供の実態や季節にあった絵本を必要に応じて用意する。 ※面白かったところや気付いたことを伝えてきた時には、じっくり聞き、絵本の楽しさに共感する。 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> |
| 9:45 | <p>○片付けをする。</p> <p>・手洗い、うがいを する。</p> <p>○帰りの支度をす る。</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈コンサートごっこ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と一緒に曲に合わせて踊る。 ●異年齢の友達を受け入れ一緒に踊ったり、見てもらったりする。 ◎自分たちで音楽をかけて踊りを楽しむことができるようにカセットテープを用意する。 ※お客さんに見てほしいという思いをもち、椅子を並べている姿を受け止め、子供と共に環境を整える。 ※一人一人がリズムを感じながら、伸び伸びと踊っている姿を認め、見てもらう嬉しさを共感する。 ※異年齢の友達を自分の言葉で誘う姿を認め、自信をもって自分からかかわることができるようにする。 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈お店屋さんごっこ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な材料やドングリ、ジュズダマなどの自然物を使って、お菓子を作る。 ●自分たちで作ったものを異年齢の友達に売る。 ◎自分なりにイメージしたものを作ることができるように、多様な素材を用意する。 ◎作ったものを使って遊ぶことができるように、皿やコップなどを用意する。 ◎子供が遊ぶ様子を見ながら、机を動かすなど場の再構成をする。 ※お店屋さんになりきり、友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ姿を見守る。また、仲介役となり、子供の思いをつなげる言葉がけをする。 ※自分の経験やイメージをもとに、お店で売るものを作ろうとする姿を見守る。イメージしたものができる喜びが味わえるように、必要があれば一緒に作る。 </div> </div> |
| 10:30 | <p>○降園する。</p> | |

